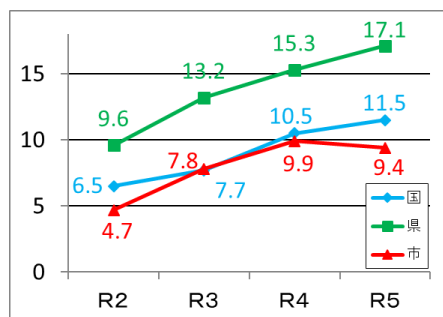


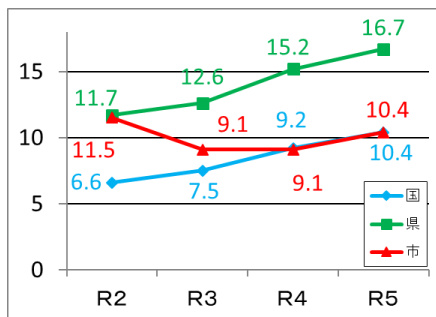
令和5年度「東広島市立小中学校における生徒指導上の諸課題」の現状について

1 「暴力行為」の発生件数について

【小学校/1,000人あたりの発生件数】



【中学校/1,000人あたりの発生件数】



【本市の暴力行為発生件数】

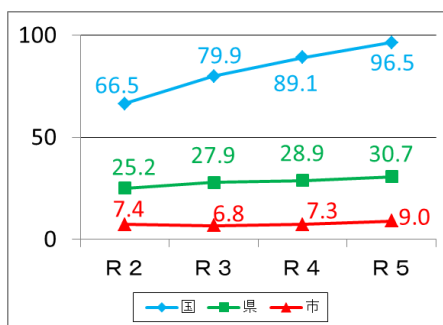
	小学校	中学校
R 2	5 3	5 5
R 3	9 0 (4 0)	4 4 (2 4)
R 4	1 1 9 (6 9)	4 5 (2 9)
R 5	1 0 5 (5 7)	5 1 (3 3)
R 6	(6 0)	(7 4)

※ () 内は10月末の数値

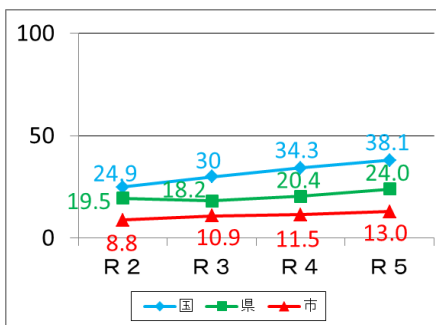
- 令和5年度の本市の暴力行為の発生件数は、前年度と比較すると、小学校で減少、中学校で増加している。

2 「いじめ」の認知件数について

【小学校/1,000人あたりの認知件数】



【中学校/1,000人あたりの認知件数】



【本市のいじめの認知件数】

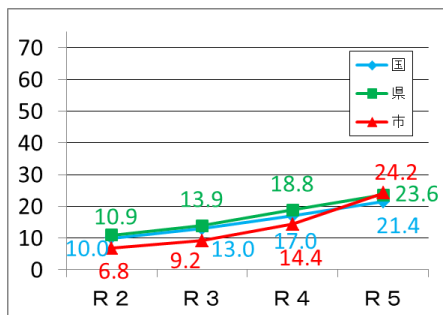
	小学校	中学校
R 2	8 4	4 2
R 3	7 8 (4 6)	5 3 (2 9)
R 4	8 2 (5 5)	5 7 (2 9)
R 5	1 0 1 (6 0)	6 4 (4 1)
R 6	(7 8)	(6 4)

※ () 内は10月末の数値

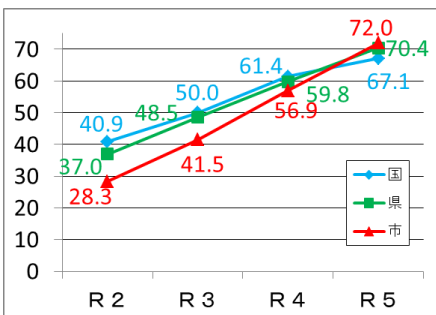
- 令和5年度の本市のいじめの認知件数は、前年度と比較すると、小中学校ともに増加している。

3 「不登校」の児童生徒数について

【小学校/1,000人あたりの不登校児童数】



【中学校/1,000人あたりの不登校生徒数】



【本市の不登校児童生徒数】

	小学校	中学校
R 2	7 7	1 3 5
R 3	1 0 5 (5 7)	2 0 2 (1 3 4)
R 4	1 6 3 (8 3)	2 8 3 (1 7 2)
R 5	2 7 1 (1 3 2)	3 5 4 (2 4 9)
R 6	(1 7 5)	(2 1 6)

※ () 内は10月末の数値

- 令和5年度の本市の不登校児童生徒数は、前年度と比較すると、小学校で約1.7倍、中学校で約1.3倍増加している。
- 不登校児童生徒のうち、専門的な相談・指導等を受けていない割合は、市49.4%、国38.8%であり、このうち、教職員から継続的な相談・指導を受けた割合は、市96.4%、国89.1%であった。